



## 第 11 回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権 『 もうひとつの高校選手権 presented by KOCHO 』 九州地区予選会 開催要項

1 目 的 第 11 回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権の九州代表を決定する。  
知的障がい者のスポーツ促進、生涯学習の環境作りと推進に寄与する。

2 主 催 九州知的障がい者サッカー連盟

3 主 管 沖縄県知的障がい者サッカー連盟  
もうひとつの高校選手権九州地区予選実行委員会

4 期 日 令和 7 年 1 月 9 日 (日)

5 会 場 うるま市与那城陸上競技場 所 在 地：沖縄県うるま市与那城中央 5

### 6 参加資格

①知的障害特別支援学校高等部に在学中の単独部活動チーム、合同チーム及び別に定める申し合わせ事項により、高等学校のチームによる大会及び特別支援学校以外のチームの参加を認める。部員不足によりチームを編成できない学校については、それぞれの学校の学校長の責任のもと学校長の許可を必要とする。また、各地域の理事会に申請して、承認されたチームであることを地域大会の参加を認める条件とする。尚、本大会におけるチーム名は学校名又は合同チーム名とする。

②年度内の健康診断で運動に制限がないことを所定の用紙を使って、学校長名で証明できる知的障がい者のチームとする。

※特別な配慮については、事前に連絡すること。

③選手・スタッフ共にスポーツ傷害保険に加入していること。

※学校で加入する日本スポーツ振興センターの災害救済給付制度も可能

④特定非営利活動法人日本知的障がい者サッカー連盟に加盟する都道府県に属するチームであること。

⑤特定非営利活動法人日本知的障がい者サッカー連盟に選手登録している選手であること。

⑥移籍選手：本大会の予選を通して、選手は他のチームで参加（参加申込）していないこと。

⑦転校後 6 か月未満の者の参加を認めない。（外国人留学生もこれに準じる）ただし、一家転住等やむを得ない場合は、当該 2 校の学校長の許可があればこの限りでない。

⑧1 チームの登録人数は、選手 20 名以内までとする。

⑨追加登録は、大会 2 週間前までとする。

- 7 参加費 1チーム 15,000円  
※大会当日、現金で大会本部にお支払いください。
- 8 参加チーム 参加意思表明がなされた各県代表のチーム。
- 9 大会形式 リーグ戦方式とする。  
※優勝・準優勝校の2校は全国大会への出場権を獲得する。
- 10 参加申し込み (1) 別添エクセルファイル『2025 もうひとつの高校選手権九州地区予選会申込み』のシートに 必要事項を記入の上、**10月29日(水)**までに下記アドレス宛にメール送信してください。 申込先：[takaki-t@hitodukuri.com](mailto:takaki-t@hitodukuri.com)  
(2) メール送信する際は、「選手登録書」の学校長印は不要です。 学校長印が押された登録書は、試合当日に大会本部へ提出してください。
- 11 組合せ **令和7年10月31日(金) 17時～** オンラインにて抽選会を実施する予定。  
※ 詳細は、後日連絡します。
- 12 その他 ① 本大会参加にあたっては、競技中及び閉会式において、大会本部より許可された報道関係者または主催者が、新聞やテレビ放映のための写真撮影やVTR撮影等を行う場合があることを予め了解願います。  
ただし、個人写真の使用、個人に対するインタビュー等については、事前に承諾の確認を取ります。  
② 九州各県の知的障がい者サッカー連盟ホームページやSNSに、大会要項・試合結果・写真が掲載されることがあります。  
③ 出場選手の大会期間中の生活面での指導については、各チーム監督の責任において遗漏のないようにしてください。特に健康管理・食生活指導については、十分留意願います。  
④ 学校及び家庭における事前の健康観察を十分に行ってください。  
⑤ 各自「健康保険証」(写)を持参してください。

## 競技規則

(公財)日本サッカー協会競技規則 2024/25 に準じ、実行委員会の申し合わせ、競技会規定および競技実施要綱により実施する。

参考 : <http://www.jfa.jp/laws/>

## 競技会規定

### 1 競技のフィールド

フィールド表面は平坦で常緑な天然芝又は人工芝であり、ピッチサイズは原則 105m ×68mであること。

### 2 ボール

試合球は 5 号検定球とする。

### 3 競技者の数と交代

- ① 競技者は 7 名以上 11 名以下とする。
- ② 登録選手は 20 名までとし、ベンチへはその 20 名が入れる。大会エントリー用紙に登録している選手で、メンバー提出用紙に記入されている者に限る。
- ③ 試合開始前に 11 名の先発選手と 9 名以内の交代要員の氏名と背番号をメンバー表にて通告しておき、そのうち 5 名までが試合の停止中に主審の許可を得て交代できる。
- ④ 交代した選手が再度ピッチに入ることはできない。
- ⑤ てんかん等の発作による交代は別枠として常時可能とするが、交代した選手は当該試合に出場できない。(この場合は 6 名以上の交代が可能になる)

※事前にてんかん等の発作がある旨を参加申込用紙の「特記事項欄」に記載しておくこと。

### 4 役員の数

ベンチには 6 名まで入れるがテクニカルエリアには 1 名のみ入ることができる。

### 5 警告

大会中、2 回の累積警告を受けた競技者は、次の 1 試合に出場できない。

大会中、退場処分を受けた選手は、次の 1 試合に出場できない。

### 6 ユニフォーム

- ① 原則として (公財) 日本サッカー協会ユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用しなければならない。  
参考 : <http://www.jfa.jp/documents/pdf/basic/br22.pdf>
- ② 正・副 2 色を用意し、監督者会議 (MCM) で当該チーム監督及び審判の協議により着用ユニフォーム (ビブス) を決定する。

- ③ アンダーシャツやスパッツを着用する際は、それぞれユニフォームやパンツと同色を使用すること。（ソックスと同色ではない）

## 7 試合形式

- ① 試合時間 40 分（前・後半 20 分）
- ② ハーフタイムのインターバル  
原則として 10 分（前半終了から後半開始まで）
- ③ 大会形式は、リーグ戦方式とする。  
同点の場合は PK 戦（ペナルティーシュートアウト）を行う。
- ④ アディショナルタイムの表示を行う。
- ⑤ 競技中必要に応じて、前後半に 1 回ずつ給水タイムもしくはクリーリングブレークを設ける。  
実施する場合には、試合前に審判より両チームに通知すること。

## 8 その他

競技中、選手に不測の事態が生じたり、介助を必要としたりする時などは、主審にその旨を伝え指示をあおがなければならない。主審が認めた場合のみ、最大 2 名のピッヂへの入場を許可される。

## 競技実施要綱

### 1 開・閉会式

- ①開会式は行わない。
- ②閉会式(表彰式)は決勝戦終了後に行う。

### 2 招集

- ①試合毎に、メンバー表（11名の出場選手と9名の交代選手）を試合開始30分前までに、競技本部に提出する。用紙は、指定の様式を使用すること。  
合わせてユニフォームの確認も行う。
- ②召集時刻は、原則として試合開始5分前に本部テント前に集合し、審判によるチェックを行う。

### 3 監督者会議

大会当日の9時から3チームでの監督者会議（MCM）を行う。試合開始時間の確認、審判員の確認、出場選手の確認、ユニフォームの確認、試合会場の安全の確認（安全が確保できなければ試合の中止を決定できる）等を行う。

### 4 その他

- ①ベンチは、組合せ表の番号が若いチームをピッチに向かって左側とする。
- ②競技場内では、選手、監督、コーチ、大会役員、競技役員、実施本部員及び主催者が認めた関係者（マスコミ等）以外入場することができない。（ただし、付添者については、別途考慮することがある。）
- ③大会参加者の大会開催中における傷病、競技中のけがについては、本部にて応急処置を行う。病院への搬送等については各チームで行う。傷害保険には、チームで必ず加入すること。
- ④雨天時の取り扱い…原則として実施する。  
荒天等により試合時間の変更や中止となった場合は、本部より各チームの連絡担当者へ前日の13時を目処に連絡をする。
- ⑤大会要項に規定されていない事項については実行委員会において協議の上決定する。

### 5 表彰 優勝・準優勝・3位までを表彰し公式記録とする。